

No. 366  
2002年  
1月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階  
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352  
http://www.orsj.or.jp/

## ●平成 14～15 年度役員・評議員候補者推薦のお願い

定款に従って平成 14, 15 両年度の役員・評議員の選出を行います。スケジュールは次の通りです。  
平成 14 年 1 月 31 日 (必着) 候補者推薦締切。 2 月 20 日～ 3 月 20 日 会員の書面による投票。  
3 月 末日 開票 (予定)。 4 月 19 日 総会において決定。  
については、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 忍田和良, 根本忠明

1. 役員 (理事・監事) 候補者については本人の同意を得たうえで、社員 (正会員または名誉会員) 5 名以上が候補者の略歴をつけて推薦する (次の書式に従ってください)。
2. 評議員候補者については社員 (正会員または名誉会員) 5 名以上が推薦する (次頁の様式に従ってください)。
3. 候補者は役員・評議員とも社員 (正会員または名誉会員) でなければならない。
4. 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次の通りとする。副会長 1 名 庶務 1 名 会計 1 名 研究普及 (普及) 1 名 編集 1 名 無任所 3 名 (うち支部所属者 1 名)
5. 監事の改選数は 1 名。

..... 切 り 取 り 線 .....

平成 年 月 日

### 役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成 14～15 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 会計理事 研究普及理事 編集理事 無任所理事  
監事として

\_\_\_\_\_ 氏を推薦いたします。

推薦者 (正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 \_\_\_\_\_ (印) (所属: \_\_\_\_\_ )

\_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印)  
\_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印) \_\_\_\_\_ (印)

候補者略歴 (18 字×6 行以内)

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

上記の推薦に同意します。氏名 \_\_\_\_\_ (印) (所属: \_\_\_\_\_ )

### 評議員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿  
平成 14~15 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の評議員として  
氏を推薦いたします。

推薦者 (正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 (印) (所属: )

_____ (印)	_____ (印)
_____ (印)	_____ (印)
_____ (印)	_____ (印)

#### ● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成 14 年 1 月 31 日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5 賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与するものであること。
2. 論文は OR 学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年 (平成 13 年の 1 月 1 日より 12 月末日までに発行されたものをいう) に発表された論文であること。
3. 被推薦者は OR 学会員で、年齢は原則として 40 歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 OR の実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油

(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT 研究開発本部、秩父小野田(株)、富士通(株)ソフトウェア事業本部ミドルウェア事業部、(株)ゼクセル技術本部、(株)数理システム、日本ガイシ(株)等、企業、団体が主な受賞者でした。

〔普及賞〕 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、斎藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩、伊理正夫、高橋磐郎、権藤 元、牧野都治、海辺不二雄、小笠原曉、青沼龍雄、松井知己の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本 IBM (株)、NTT、日本国有鉄道の各企業、団体が受賞者でした。

〔事例研究賞〕 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究の対象としては、OR の教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含まれます。但し、その研究は、学会誌、学会の大会等、本学会において発表 (ソフトウェアの場合はデモンストレーションを含む) されたものに限ります。

なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版 (機能限定等) が無

学会だより

償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

〔学生論文賞〕 学生による OR に関するすぐれた研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成 14 年 3 月 31 日といたしますが、詳しい募集要領は、OR 誌 2 月号に掲載します。

(表彰委員会)

## ● 第 47 回シンポジウム

日 時：平成 14 年 3 月 26 日(火) 13:00~17:45

場 所：富山国際会議場 大手町フォーラム 多目的会議室 201 (富山市大手町 1 番 2 号) (<http://www.ticc.co.jp/> をご覧ください。)

テーマ：「これからの情報通信と OR」

情報通信分野における最近のトピックスから近未来のネットワーク社会像に至る広範囲な話題より、OR の課題や活用対象などこれからの OR と情報通信について各分野の研究者にご報告頂きます。

実行委員長：片山 勤 (富山県立大学)

プログラム：

### (1)「情報通信技術の動向と近未来」

鳥山朋二 (NTT 情報流通基盤総合研究所 NTT 北陸サテライト・ラボ)

### (2)「モバイル・アドホックネットワーク」

間瀬憲一 (新潟大学工学部情報工学科)

### (3)「インターネットにおけるコンテンツ配信技術の最新動向」

中川郁夫 (インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス(株))

### (4)「フロー制御の性能解析における OR 理論を用いたアプローチ」

小沢利久 (駒沢大学経営学部経営学科)

協賛学会：(社)情報処理学会, 日本応用数理学会, (社)日本経営工学会, 日本シミュレーション学会, 電子情報通信学会

事前振込み参加費：正・賛助会員 3,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 4,000 円

当日申込み参加費：正・賛助会員 4,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員 5,000 円

\* 事前振込みは 2 月号に綴込みの振替用紙にて 3 月 15 日(金)までにお振込み下さい。折り返し、メール又は FAX にて受付番号をお知らせします (欠席

の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集を送付致します)。

問合せ先：小林 香 (富山県立大学)

Tel.0766(56)7500 (内線 482)

E-mail: kaori@pu-toyama.ac.jp

\* 学会ホームページ <http://www.orsj.or.jp> をご覧ください。

## ● 平成 14 年春季研究発表会

日 程：

平成 14 年 3 月 27 日(水), 28 日(木) 研究発表会  
3 月 29 日(金) 見学会

場 所：富山国際会議場 大手町フォーラム (富山市大手町 1 番 2 号) (<http://www.ticc.co.jp/> をご覧ください)

特別テーマ：「地方分権と OR」

実行委員長：中島恭一 (富山県立大学)

副実行委員長：寺岡義伸 (大阪府立大学), 石井博昭 (大阪大学)

特別講演：一般公開 (入場無料)

3 月 27 日(水) 16:10~17:30

多目的会議室 (2 階)

「日本海学のすすめ」

中井徳太郎 (富山県生活環境部長)

「深層水のひみつ」

古米 保 (富山県立大学教授)

3 月 28 日(木) 10:50~11:50

メインホール (3 階)

「前田藩と地方分権」

嶋崎 丞 (石川県立美術館館長)

事前振込み参加費：正・賛助会員 6,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員 8,000 円

当日申込み参加費：正・賛助会員 7,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 10,000 円

登壇料：非会員のみ, 参加費と別途 2,000 円/件 (本学会の許可が必要)

\* 事前振込みは 2 月号に綴込みの振替用紙にて 3 月 15 日(金)までにお振込み下さい。折り返し、メール又は FAX にて受付番号をお知らせします (欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集を送付致します)。

懇親会：3 月 27 日(水) 18:00~

富山国際会議場大手町フォーラム 多目的会議室 2 階 (懇親会費：6,000 円)

**見学会：3月29日(金)**

見学先：スギノマシン(株)、ほたるいかミュージアム、  
富山県水産試験場、富山の酒蔵(栴田酒造店)など  
(見学会費：3,000円)

**問合せ先：富山県立大学工学部 高木 昇**

(〒939-0398 富山県射水郡小杉町黒河5180)

Tel.0766(56)7500 (内線461)

Fax.0766(56)8022

E-mail: or2002@pu-toyama.ac.jp

**宿泊に関するお願い：**富山市の研究会開催補助制度があり、補助金額は参加者の富山市延べ宿泊数によって決定されます。研究発表会開催期間中は、富山市のホテルをご利用下さいますようお願い申し上げます。

\*詳しくは、下記の研究発表会ホームページを参照下さい。(http://www.kanazawa-gu.ac.jp/~kuwano/or2002spring/normal.html)

**● 第9回企業事例交流会**

**趣旨：**企業事例交流会とは企業のOR実務担当者に、OR実施例(問題の発生からさまざまな苦労を経て解決に至る苦労話など)を、新規研究の研究発表という形式ではなく、ORの適用事例という位置付けで発表していただくものです。

**日程：**平成14年3月27日(水)

**場所：**富山国際会議場 大手町フォーラム

**参加方法：**研究発表会のセッションの一部として行いますので、研究発表会参加の手続きをして下さい。

**問合せ先：**富山国際大学地域学部地域システム学科  
北野孝一

E-mail: kitano@tuins.ac.jp

**● 第48回シンポジウム**

**日時：**平成14年9月10日(火)

**場所：**公立ほこだて未来大学(函館市亀田中野町116番地2)

**テーマ：**「マルチエージェントシステムとOR」

近年人工知能分野での分散知能研究や複雑系・複雑系工学研究を通して、マルチエージェントシステムの有効性が明らかにされつつある。特に対象が大規模・複雑な問題領域に対してのアプローチとして、マルチエージェントシステムによる問題領域の捉え方や問題解決手法の提案は重要性を増しつつある。特にORの分野では実環境に則した大規模・複雑な問題の解決を

如何に行っていくかが重要であり、マルチエージェントシステムが有効な場合が多く考えられる。本シンポジウムではOR学会誌(vol.46, No.10, 2001)に特集されたマルチエージェント実験経済学の著者を中心にマルチエージェントシステムの専門家による最新の研究成果の発表と、パネルディスカッションを行う。

**実行委員長：**大内 東(北海道大学)

**● 平成14年秋季研究発表会**

**日程：**

平成14年9月11日(水)、12日(木) 研究発表会  
9月13日(金) 見学会

**場所：**公立ほこだて未来大学(函館市亀田中野町116番地2)

**特別テーマ：**「フロー型社会システムとOR」

電力エネルギーシステム、交通システム、情報システムetcは、いずれもネットワーク・フローとしてモデル化することが可能である。本特別テーマではこれらの社会システムについて、フローモデルとしての問題設定とその解決策に基づくOR的視点からの研究成果について発表していただき、問題解決の可能性を探る。

**実行委員長：**大内 東(北海道大学)

**● OR学会関西支部定例講演会**

**日時：**平成14年1月17日(木) 15:00~18:00

**場所：**京都大学吉田キャンパス工学部8号館共同第6講義室(http://www.i.kyoto-u.ac.jp/top/address.html参照)

**テーマと講師：**

(1)「数列、行列、グラフの丸めとディスクレパンシー(Discrepancy and roundings of sequences, matrices, and graphs)」

徳山 豪(東北大学大学院情報科学研究科教授)

(2)「Some Recent Advances in Mathematical Programs with Equilibrium Constraints」

福嶋雅夫(京都大学大学院情報学研究科教授)

**問合せ先：**大阪大学大学院基礎工学研究科システム科学分野 牧野和久

Tel.06(6850)6351 Fax.06(6850)6341

E-mail: makino@sys.es.osaka-u.ac.jp

●平成13年度第3回OR企業フォーラムのご案内

日時：平成14年2月4日(月) 14:00~19:00

(懇親会を5時過ぎから行います)

場所：大阪弥生会館2階「三笠」(大阪市北区芝田2-4-53 Tel.06(6373)1841 JR大阪駅、阪急・地下鉄梅田駅下車徒歩5分)

\* 地図はURL、<http://www.yayoikaikan.com/osaka/acsess/acsess.htm> をご覧下さい。

第1部(午後2:00~3:30)：

テーマ：「ITの活用による伝統産業の活性化と当社の事業拡大」

ゲスト・スピーカー：極東産機(株) 代表取締役社長 頃安雅樹氏

第2部(午後3:40~5:00)：

テーマ：「フィンランドに注目」

ゲスト・スピーカー：コニカ(株) 取締役ITソリューションズセンター長 新谷恭将氏

参加資格者：OR学会会員(個人正会員、学生会員、賛助会員)、参加費(無料)

申込み先：(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

E-mail: forum@orsj.or.jp

\*1月25日(金)までにお申込み下さい。(1月号に申込書の綴込みがあります)。

なお、会場の都合により参加者を100名程度に限らせて頂きます。また、賛助会員のご参加は各企業3名以内に限らせて頂きます。

必要事項：①フォーラムの開催日、②お名前、③所属組織・部署名、④会員種別(個人正会員、学生会員、賛助会員)、⑤連絡先住所、⑥TELまたはFAX番号

●研究部会・グループ開催案内

〔アルゴリズムと最適化〕

・第4回

日時：平成14年1月12日(土) 14:00~18:20

場所：筑波大学第三学群K棟202室

テーマと講師：

(1)「広域分散コンピューティング環境における数理計画ソフトウェアSDPA」

藤沢克樹(京都大学)

(2)「閉包空間と凸幾何の端点演算子」

安藤和敏(筑波大学)

(3)「最短経路数え上げ問題とその応用」

大山達雄(政策研究大学院大学)

問合せ先：筑波大学電子・情報工学系 久野誉人

Tel.0298(53)5540

E-mail: takahito@is.tsukuba.ac.jp

\*詳しくは、<http://kantaro.sk.tsukuba.ac.jp/saop/> をご覧下さい。

〔評価のOR〕

・第12回学生大会

日時：平成14年1月26日(土) 13:30~16:00

場所：政策研究大学院大学3階教室E(〒162-8677 新宿区若松町2-2)

都営新宿線あけぼの橋駅下車、徒歩10分(あるいは、都営地下鉄・大江戸線・若松河田駅下車、徒歩4分)、東京女子医大の隣、旧税務大学校の跡地

テーマ：

(1)「『国力に応じた軍事力』の国際比較」

中林 健(政策研究大学院大学)

(2)「DEAを用いた政策評価に関する研究」

沼波 輝(政策研究大学院大学)

(3)「複素一対比較法と為替変動分析」

斎藤栄一(日本大学)

(4)「整合度指標の比較評価」

中村五郎(日本大学)

(5)「不完全一対比較情報下での重要度ウェイト推定値の統計的信頼度評価」

播磨砂登美(日本大学)

(6)「区間判断を導入するグループAHPにおける集合意形成方法に関する研究」

田口健吾(東京理科大学大学院)

(7)「売り手の価格割引と買い手の注文間隔を決定する契約の研究」

千葉美德(東京理科大学大学院)

(8)「東・東南アジア諸国における最適ハブ空港選定方法の研究」

中里裕樹(東京理科大学大学院)

・第13回学生大会

日時：平成14年2月16日(土) 13:30~16:00

場所：第12回に同じ

テーマ：

(1)「Conjoint分析とAHP分析の比較研究」

島村智晃(日本大学)

- (2)「複素一対比較行列のウェイト推定法」  
鬼頭正浩（日本大学）
- (3)「非ゼロ和ゲームによるハッカーの行動分析」  
荒川元貴（日本大学）  
以下募集中
- 問合せ先：日本大学生産工学部数理情報工学科  
篠原正明（〒275-8575 習志野市泉町1-2-1）  
Tel.047(474)2672  
E-mail：m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp  
Homepage：http://shinohara.su.cit.nihon-u.ac.jp

● 会合案内

〔第214回新宿OR研究会〕  
日 時：平成14年1月15日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室（新宿センタービル53F）  
テーマ：「原子力安全、主に原子力発電施設の安全」  
講 師：内田秀雄氏（財原子力安全研究協会理事長、  
前原子力安全委員会委員長、東京大学名誉教授）  
参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局  
〔第215回新宿OR研究会〕  
日 時：平成14年2月19日(火) 12:00~13:30  
場 所：東天紅会議室（新宿センタービル53F）  
テーマ：「科学史家J.D.バナルとOR」  
講 師：姜 雄氏（東京大学人文社会系研究科）  
参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局

● 平成14年度会費納入のお願い(事務局)

平成14年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、13年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成14年度会費振替は平成14年1月21日(月)になります。振替金額の不足のないよう、預金残高をご確認いただければ幸いです。

〔預金口座振替ご希望の方へ〕

預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL、FAX、郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

会員名簿刊行のお知らせ (事務局)

2001年版の会員名簿(会員限定)が発刊されました。E-mail addressも登録され、3年振りの改定版です。まだ残部がありますので、購入ご希望の会員の方には、1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。(消費税は非課税です)

氏名・会員番号・代金支払方法(振込でお願いいたしますが、請求書等必要の有無など)をご記入ください。